ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

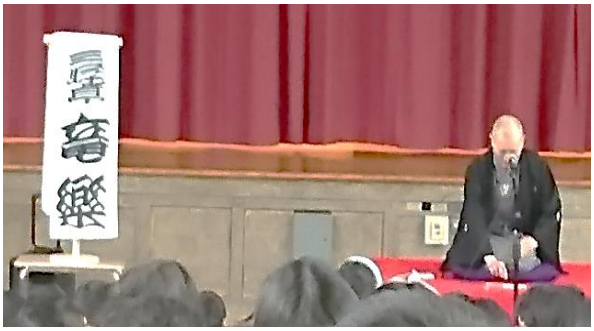
平成30（2018）年
１０月２７日発行
第２２号

夢のふくらむ学校

ＬＩ校　日本の伝統文化を堪能しました！

１０月１３日にＬＩ校で「日本文化継承行事」として落語の講演会が行われました。紐育落語会会長の入浴家￠（セント）さんと、日本から落語家の三遊亭竜楽師匠が来校し、初等部１年生から高等部２年生の児童生徒と教師、そして保護者の方々も一緒に古典落語を聞きました。

私自身が初めての生の落語を経験できたことと、さすが話のプロという聴衆を引きつける技術の素晴らしさに感動しました。落語は低学年には難しいのではないかと心配もしていましたが、思っていた以上にみんな話に引き込まれていたようです。それは、小学生向きの短い演目でもあったとは思いますが、しぐさや話し方が超一流であったからだと思います。遠くを見て呼びかけるような話し方をすれば、子どもたちは思わず後ろを振り返り、相手を探していました。





約１時間の講演があっという間に感じられたことからも楽しかったことがうかがえました。最後には子どもたちとの記念撮影にも快く応じていただきました。

日本でもなかなか聞くことのできない真打の落語家によるお話を聞くことができ、本当に有意義な思い出に残る日本文化継承行事となりました。

企画・運営をしていただいた保護者会及び関係者の皆様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。（文責　坂口教頭）

Ｗ校　補習校絵画コンクール開催

今年も力作が集まった「補習校絵画コンクール」。先日佳作以上の作品をW校校舎に掲示しました。のびのび一生懸命描かれた作品群を親子で鑑賞する姿が見られました。現地校では選択制だったり、授業がなかったりするいわゆる芸能教科ですが、日本で図画工作や美術の授業が好きだったお子さん、或いは絵を描いたり創作したりするのが好きなお子さんも大勢いると思います。自分のイメージを色や形に託して自由に表現できる様々な機会と場を提供していくのも補習校の使命と考えます。



補習校では、「音読、作文、視写、漢字」を念頭に置いた教科学習をはじめとして、お子さんに日本の学校文化のよさを体験してもらう活動も多く取り入れているところです。もとより、保護者の皆様のご支援がなければ補習校は成り立ちません。いっそうのご理解とご協力をお願い申し上げる次第です。

お知らせ

新学習指導要領完全実施（２０２０年度）にともなう移行措置について

＜小学校＞

国語・・４年に都道府県名に用いる漢字２５字が追加されます。
社会・・５年に「竹島や、北方領土、尖閣諸島が我が国固有の領土であることに触れること」が明記されます。（現行は北方領土のみ）
算数・・３年、４年の「量と測定」に「メートル法」が追記されます。
理科・・４年の「光電池の働き」が省略されます。（６年で指導）
生活・・１年、２年とも新学習指導要領に基づく指導ができるようになります。
外国語活動・・年間授業時数が３年、４年は１５時間、５年、６年は５０時間になります。